

## “健やかに治明百年に生きる”

明治改元から満百年、明治百年と呼ばれるこの秋、全国各地でいろいろな記念行事が催される。私達の祖先が明治維新の大業をなし遂げ近代国家としてスタートしてから百年、いろいろな苦難の歩みの中から近代国家の地位を確立した記念すべき年である。

明治の初め統計がその体系を整えて以来、ここに90余年、近代国家建設のため数々の貴重な資料を提供し、そして現在行政の科学化、計画化を進めていくうえに、価値の高い統計の、より早い提供と、高度に利用ということが要求されている。

## “明治百年聖火メキシコの空に”

月日のたつのは早いものといわれるが、オリンピックが東京で開かれてからはや4年、聖火は、はるばるとメキシコの空に燃えつづけ世界の若者が技を競う。2千メートルの高地に開催されたこのオリンピックは、高地民族の活躍や、米国の黒人選手に関する問題などいろいろの話題で賑わった。人間の体力の限界はどこまでと考えさせられる驚異的な記録が続出したのもこの大会の特色、かつて水泳王国を誇った日本の水泳界はいまいづこの感が深い。

## “菊香るこの日統計マンの意気”

11月6日、県民文化センターにおいて第10回茨城県統計大会が盛大に挙行された。県下の統計関係者が一堂に会し、日ごろの苦勞をねぎらい合い、相互啓発に努め統計の進歩発展を誓い、永い間目に見えない地味な統計調査の仕事を続けられた調査員の功績をたたえ合うといった、いわば年1回の統計の祭典ともいべきまことに意義深い佳き日である。またこの日統計思想と統計教育の普及を目的とした統計グラフコンクール入選作品が展示され、小、中学校児童、生徒の力作が、参会の統計関係者の目を驚かせた。

## “感激の受賞無骨な掌がふるえ”

統計大会で表彰される統計調査員の方々、本当に永い間ご苦勞さまでした。縁の下の力持といわれるように目立たず、労多し数々の統計調査の第一線に黙々と尽力されてきた人達ばかり、日ごろ農家の大黒柱として自然と共に祖先から受継いだ大地に親しむ家業のかたわら、近代国家建設の基礎となる正しい統計の作成のために日夜

のお骨折をお願いしました。あなた達の苦心して集められた調査票の一つ一つの数字が、積み重ねられ市町村の統計として、県や国の統計の基として明るい郷土建設のために大変役立つています。これからも元気でがんばってください。

## “第4次漁業センサス実施され”

11月1日、5年ごとに漁業に関する大がかりな調査が行なわれる。漁業の国勢調査ともいわれるこの統計調査は第4回目になる。センサスという用語は、一般の人にはあまりなじみのない言葉であるが、現在では農業、漁業の基本的統計調査に用いられている。ここでいう漁業センサスというのは、漁業者について漁業に関する多項目な事象を実地に全部調査することなのである。この調査は海面および内水面において漁業を行なう経営体を調査客体として行なわれるが、本県の場合は海面と、霞ヶ浦、北浦等における内水面漁業が該当客体として調査される。

## “確しかめる漁業経営体の意味”

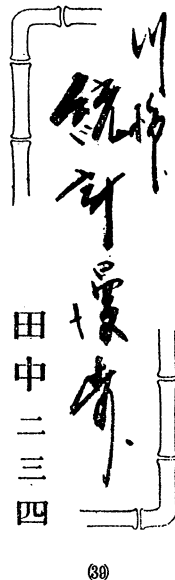
この漁業センサスにいう漁業経営体とは、過去1年間海面において利潤または生活の資を得るために水産動植物の採捕または、養殖の事業を行うものと、漁業従事世帯として、過去1年間に生活のため賃金等を得ることを目的として、他人の営を漁業経営体にやとわれ30日以上上海作業に従事した世帯員のいる世帯が調査される。内水面においては霞ヶ浦のように指定された湖沼において過去1年間に漁業生産を行つた事業体と、その他の内水面において養殖生産を行つた事業体がそれぞれ調査客体として調査される。

## “明治百年学生ストが大はやり”

東大といえば秀才校として自他共にゆるす日本を代表する有名校、そこにいま泥沼式の学生ストが継続されている。最近学生ストは一つの流行のようで、そちこちの大学でストが展開されマスコミを賑わしている。こんなに長く続くストでは勉強の方はどうなんだろうと心配するのが親心、何かがどつかで狂っているのか。

## “市街戦学生唯いま突撃中”

反戦国際統一デーの10月21日、全学連の大部隊が新宿駅を襲撃し放火や、電車破壊など国鉄に大損害を与えた。このため騒乱罪が適用され多数の学生が検挙された。どうしてこんなことになったのか、平和だといつても、何か恐いものが忍びよっているのではないのか。



(30)